

# ～第11回市民サロン開催のお知らせ～

都市計画マスタープランの見直しについて、参加いただいた市民の方々と話し合いを進めます。

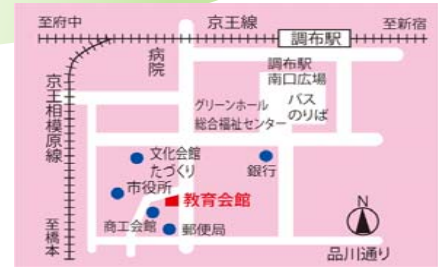
日程 平成25年9月25日(水) 午後7時から  
 場所 調布市教育会館2階201・202会議室  
 主要内容 都市計画マスタープラン改定に対する市への提案の確認・検証【前半】

参加自由です！  
 お気軽にご参加ください。

※第12回以降も、定期的に市民サロンを開催します。

第12回テーマ：市への提案のとりまとめ・検証【後半】 10月中旬頃

第13回テーマ：マスタープラン改定（素案）について 1月中旬頃



会場案内図  
 ※お車でのご来場はご遠慮ください。

## 次回のテーマ

### 都市計画マスタープラン改定に対する市への提案の確認・検証

昨年の8月に開催した第1回目から第10回目の市民サロンまで、4つのテーマに関して様々なご意見をいただきました。今回、これまでの市民サロンでいただいた意見をもとに、都市計画マスタープラン改定に対する市への提案（案）をまとめました。第11回市民サロンでは、この提案を皆さんに確認・検証していただき、とりまとめを行っていきたくと考えています。

市民提案書イメージ

皆さんの意見を  
 確認・検証して  
 市への提案を完成  
 させましょう！

■ 調布市では、マスタープランの見直し作業の過程等について、このニュースでわかりやすくお知らせしていきます。  
 発行 調布市都市整備部 都市計画課 都市計画係  
 Tel: 042-481-7453 Fax: 042-481-6800 mail: tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号  
 (刊行物番号)  
 2013 - 139

# 調布市 都市計画マスタープラン

調布市では、長期的・総合的な視点から今後の都市計画の指針となるものとして平成10年に策定した「調布市都市計画マスタープラン」の見直し・改定に向けた取り組みを進めております。

平成25年9月20日  
 調布市都市計画課発行

## 見直しニュース 第11号



### 第10回都市計画マスタープランを考える市民サロンを開催しました！

都市計画マスタープランの改定に向けて、第10回市民サロンを8月27日(火)午後7時から開催しました。当日は15人の市民の方にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。

#### ▶ 第10回市民サロンの概要について

京王線の地下化を機に、調布駅周辺の都市構造が大きく変化することが予想されます。また、平成17年に「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」を施行し、市民参加の街づくりへの支援を制度化したことなどにより、住民発意のまちづくりが進んでいます。

第10回市民サロンでは、「地域活性化と住民発意のまちづくり」をテーマに、第9回市民サロンで出し合った課題を踏まえた取組・方針について話し合いました。



#### ▶ 「地域活性化と住民発意のまちづくり」に対していただいた取組・提案のご紹介

### Aグループ

**課題** 市民が参画しやすい仕組み・ルールづくりを行い、市民・企業・行政が一体となったまちづくりを進める必要があるのではないか。

#### ▼ 第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 企業と市民が一体となったまちづくりを進めるため、行政が橋渡しとなる必要がある。
- 多くの意見や議論を行うため、フォーラムや勉強会などを開催しながら、組織づくりを進める必要がある。

**課題** 市内にある様々な地域資源を生かし、地域活性化につながる取組を検討する必要があるのではないか。

#### ▼ 第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 商工業の活性化ではなく、人が集まる活性化を図るため、農業、映画、文化施設などの地域資源を活用することが必要である。
- 今後の社会情勢等の動向を見据えて、市内にある公共施設について、必要性が希薄になっている機能の見直しや、施設の統合も視野に入れながら施設の整理・統合を検討する必要がある。

**課題** 歩行者や自転車にとって安全性・利便性の高い交通環境を整備し、都市基盤を整える必要があるのではないか。

#### ▼ 第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 弱者を守る安全性・利便性の高い交通環境を形成するため、基盤整備の他に、ルールやマナー向上に向けた啓発を図ることが必要である。
- 道路整備に当たっては、安全性のほかに、防災や景観など様々な観点も考慮して進めていくことが必要である。

# 第10回市民サロン「地域活性化と住民発意のまちづくり」での課題に対する取組の紹介

## Bグループ

～市民サロンでいただいたご意見を一部紹介します～

## Cグループ

**課題** 市民が参画しやすい仕組み・ルールづくりを行い、市民・企業・行政が一体となったまちづくりを進める必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 市民意見を市の施策や事業に反映させる仕組みづくりを進めていくことが必要である。
- 各種計画の実行に当たっては、市民と行政が一体となった実行組織をつくり、市民との協働で計画を推進していくことを検討するべきである。

**課題** 市内にある様々な地域資源を生かし、地域活性化につながる取組を検討する必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 調布の魅力を高めて、来街者を増やす取組として、「映画のまち調布」以外にも地域資源を生かした施策を検討するべきである。

**課題** 歩行者や自転車にとって安全性・利便性の高い交通環境を整備し、都市基盤を整える必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 車優先の社会から生活者優先のまちづくりとして、歩行者・自転車・車イス等が優先される交通環境を整備するべきである。

**課題** 地域活性化に向けて、メインコンセプトの絞り込みと、取組の優先順位付けの必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- まちづくりのメインコンセプトとして、「誰もが生活しやすいまち調布」を掲げ、その趣旨にそったまちづくりを市民・行政等が一体となって推進する。
- 市内の準工業地域の在り方なども含め、今後変化していく土地利用を見据えた方針を都市計画マスタープランで示す必要がある。

**課題** 中心市街地の活性化に向けて、市民も含めて検討を行い、地域ごとにテーマに沿ったまちづくりの必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 中心市街地に住民の生活を主体に考え、魅力ある商業施設の誘導を行う。
- 朝市・マーケット・屋台村など、調布の市民だけでなく、遠方からの来街者も集まれる様なイベントができる空間を駅前広場に確保する。

**課題** 市民が参画しやすい仕組み・ルールづくりを行い、市民・企業・行政が一体となったまちづくりを進める必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 行政がリーダーシップをとってまちづくりについて議論する場を設置し、課題共有や取組意欲を芽生えさせる等の住民発意のまちづくりがスタートするきっかけをつくる必要がある。
- 住民では把握できない地域のまちづくりの課題や議論のテーマなどを提示することによって、行政が住民発意のまちづくりのきっかけをつくるためのリーダーシップをとる。
- 住民発意を促すためにも、これから調布に住もうと思っている人や、若い世代の人の発想・意見を汲み取る仕組みをつくることを検討するべきである。

**課題** 市内にある様々な地域資源を活かし、地域活性化につながる取組を検討する必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 映画のまちとして、常設の映画館の設置に向けて、民間による運営を誘導・支援するために、鉄道敷地跡や既存のホール等を活用しながら場所を確保する。
- 他都市の良い街並み事例を参考にしながら、地権者・住民が一緒になって、駅前にとどのような施設が良いか検討する。

**課題** 駅周辺だけでなく住宅地の活性化が必要であり、高齢化が進む住宅のリニューアルの必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 住宅地の活性化に向けて、老朽化住宅・アパートの建替支援を行う必要がある。
- 最低敷地面積の規制導入や土地の買い上げによって乱開発を防止し、住環境の保全・住宅地の活性化を図る。
- 若い人が住みやすい環境を整えるのもまちを盛り上げる要素となるので、若い人が集まるような集住の工夫をする必要がある。



《Aグループによる話し合いの様子》



《Bグループによる話し合いの様子》



《Cグループによる話し合いの様子》



《Dグループによる話し合いの様子》



## Dグループ

**課題** 市民が参画しやすい仕組み・ルールづくりを行い、市民・企業・行政が一体となったまちづくりを進める必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 地域のまちづくり活動では、調布まちづくりの会など、既存の市民団体の活動と連携を図る必要がある。
- 公園の設計や管理を住民が行うなど、具体的に地域の課題は地域で考える仕組みが必要である。

**課題** 歩行者や自転車にとって安全性・利便性の高い交通環境を整備し、都市基盤を整える必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 歩行者と自転車の分離のため、左側通行の表示の設置や交通マナーを学ぶ場づくりを進める。
- 道路計画から考えて、歩行者と自転車道の分離などは、無理がある。例えば、一方通行にして半分を自転車道にするなどは考えられる。
- 市外からの車が抜け道を頻りに利用して迷惑している。抜け道を許さないような道路構造を検討する。

**課題** 中心市街地の活性化に向けて、市民も含めて検討を行い、地域ごとにテーマに沿ったまちづくりの必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 地域の商店街で買物をする仕組みやイベントの開催を行うなど、地域の中で消費させる仕組みをつくる必要がある。
- 買い物弱者など地域で支える仕組みをつくる。

**課題** 市内にある様々な地域資源を活かし、地域活性化につながる取組を検討する必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- 基地跡地の有効利用や娯楽施設などの誘致をもっと進めていく必要がある。

**課題** 生活の基盤としての医療施設や商店街など、バリアフリーに対応したまちづくりをより一層進めるために、取り組む必要があるのではないか。

▼第10回市民サロンでいただいた取組提案

- バリアフリー化を一層進めるために、建築する前に行政が働きかけ、指導を強める必要がある。
- 商店街をはじめ、公共性が高い施設については、より一層バリアフリーを進めていく必要がある。
- ハード、ソフト両方のバリアフリーが必要である。